

## V239a NASA 遠赤外線 Probe ミッション PRIMA の近況報告

稲見華恵 (広島大), 生田ちさと (ISAS/JAXA), 長尾透 (愛媛大), 中川貴雄 (東京都市大, ISAS/JAXA), 篠崎慶亮 (JAXA), 金田英宏 (名古屋大), 田村隆幸 (ISAS/JAXA), PRIMA-Japan チーム

PRIMA (PRobe far-Infrared Mission for Astrophysics) は、NASA が主導する Probe ミッション候補の 1 つとして計画されている遠赤外線宇宙望遠鏡である。口径 1.8m の望遠鏡を 4.5K まで冷却し、24–235 $\mu\text{m}$  の撮像・分光・偏光観測を実現する観測装置を搭載する。これにより、原始惑星系円盤や星形成、銀河進化やその多階層的進化プロセスの解明など、多岐にわたる宇宙物理現象の解明を目指している。現在は、2032 年の打ち上げを目指して 2026 年 1 月末までの Phase A 活動の一環として科学および技術的検討を実施している。この活動報告を Concept Study Report として提出し、NASA での最終選抜に臨む。

日本では、ISAS/JAXA の戦略的海外共同計画の枠組みを通じ、本ミッションへの参画が検討されている。現在は ISAS 宇宙理学委員会の PRIMA ワーキング・グループとして活動しており、日本から PRIMA への貢献の内容として、(1) PRIMA チームが主導する PI 観測への参加、(2) ペイロード冷却用 18K シールドの提供、(3) JAXA 美笹局による科学データ受信支援、(4) 冷却光学系の試験・性能評価を検討している。本発表では、PRIMA の計画概要と科学目標、日本が検討している貢献内容、および、Phase A 活動を含めたプロジェクトの最新状況および今後の予定について報告する。